

3月12日複数志願選抜入試が行われました。別室対応をした中学生もいましたが、大きく体調を崩す生徒は出ず、無事終了しました。そして3月19日に発表。受検者数が多く、近年では高い倍率となりました。合格された皆さん、おめでとうございます。4月からの入学に備え準備を進めてください。22日には合格者招集がありますのでよろしくお祈りします。また、本校を合格されなかった皆さん、次のステージでのご活躍に期待します。



そして、3月16日から石川県のボランティアに生徒9名と職員4名で行きました。事前にボランティア登録をし、伺う市町に申し込む形で派遣依頼のあった17日は志賀町に全員で、18日は志賀町に7名、七尾市に6名が行きました。生徒にとっても初めての災害ボランティアではなかったかと思いますが、2日間頑張ってくれたようです。それぞれの市町の状況等また報告していただきます。(22日予定)生徒の皆さん、引率の先生方、本当にお疲れ様でした。またご理解をいただき、活動に参加させていただいた保護者の皆様ありがとうございました(赤い舞子高校のベストはPTAから支援をしていただき新調したものです)。

3月18日にはコープ共済の協力で2年生がキャリア教育を行いました。「わたしたちの未来予想図」と題して貯金、学資保険、アルバイト、奨学金、教育ローン、消費者金融などお金に関する考え方などを考えるきっかけとして話をしていただいたようです。コープ共済からもジャンパーを着た方が数名各班に入っていたり、アドバイスをいただけたようです。ありがとうございました。



また1・2年生はそれぞれ18日・15日に教室のワックスがけを行いました。ポリッシャーといわれるタイルの床を磨く機械もPTAから支援していただき、使用しました。1年生は初めてのことで先生方の指示のもと、1年間使用した教室の掃除をしてくれました。お疲れ様でした。



20日には吹奏楽部の定期演奏会が舞子ピラでありました。卒業生と最後のステージということで緊張した様子が伝わってきましたが、ソロの部分も含めしっかりと演奏し、来られた方々を魅了していました。面談していると高校から吹奏楽を始めた生徒もいる中で、頑張った成果が出ており、聞き心地も良かったです。少ない人数で準備も大変だったと思いますが、お疲れ様でした。



21日には、防災教育・防災訓練が行われました。今回の教職員のテーマは震度7の地震が起こったことを想定し、避難所対応までを考えるワークショップでした。クラスの方では、避難経路の確認や、避難訓練の意義などを再確認したようです。生徒の安全確認、情報収集のあとどう動くか、避難所対応と同時進行になる生徒の引き渡しなど様々な想定を考えるきっかけとなり、生徒たちも避難経路にB棟の階段利用を考えるという次回に向けた気づきも持ってもらえたようです。ブラッシュアップを図りたいときに備えたいものです。その後の全校集会では表彰伝達と生徒会・生徒指導部からの連絡がありました。また51回生から制服が替わることに向け、在校生が組み合わせを考えられるパターンの紹介や自転車置き場の連絡などがあり、新学年に向けての準備が加速しています。



その後の全校集会では表彰伝達と生徒会・生徒指導部からの連絡がありました。また51回生から制服が替わることに向け、在校生が組み合わせを考えられるパターンの紹介や自転車置き場の連絡などがあり、新学年に向けての準備が加速しています。

集会後の大掃除には、それぞれの分担区域はもちろん、SPTC地域清掃ということで、地域の方々、PTAの方々、そして3年生の担任の先生方を中心として職員と生徒で学校周辺のゴミ拾い等清掃活動を行いました。非常に寒い中ではありましたが、活動を共にすることができました。ご協力に感謝申し上げます。

そしていよいよ令和5年度締めくくりの終業式です。最初に先日石川県のボランティアに行ってきた生徒からの報告会がありました。それぞれが現地での経験をもとに感じたことを自分の言葉で報告してくれました。今回の経験をしっかりと伝え、本校としてできることを知恵を出し合って考え、支援を継続していきましょう。



その後の終業式での私の式辞は、1年間の総括に加え、ある高校の卒業式の答辞を引用させていただき話をしました。「逆風を味わえるのは前に向かって進む者だけだ」という言葉からは成年として旅立っていく者の決意が表われているようですし、高1の担任の「学ぶ意味なんて学びきるまでわからない。でも意味がわからないから学ばないって言うのは安直だよ」という言葉から「学びには王道もなければ聖域もない。永久の学びを志向する者ならば他者に対し冷笑的、厭世的な態度で臨むことは許されません」と結んでいるのは、学び続けることの大切さや仲間を大切にすることが表現されているようです。高校生の表現とは思えない答辞に驚きとともに学びの大切さを改めて教えてもらったような気がしたことを話しました。最後に、「自己受容」について話し、「ありのままの自分を受け入れる。良いところも悪いところも受け入れることで人に優しくなれるといわれています。自己受容できない原因は見栄を張る、他人から注意を受けると気になる、落ち込む、自分のペースを乱されると苛立つ」等だそうです。自分を受け入れ、春季休業中に進級することで準備を進めてきて欲しいと話しました。校歌は声に出せるようになったので、3番までを歌って式を終了しました。

令和5年度の終わりにあたり、多くの方々にご協力いただき、新型コロナ第5類移行後の学校生活を支えていただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに今後の舞子高校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、51号を締めくくらせていただきます。ありがとうございました。